

# 活動報告

平成 30 年 3 月～平成 30 年 12 月

末吉の活動は地元の方々や  
関係者各位のご尽力により  
支えられております



中学校で議員による出前授業実施



常任委員会で斎場視察（岡崎市）



若手市議の会で公民連携視察（紫波町）



会派で被災地視察（相馬市）



公共スペース有効利用視察（都内各地）

## こども医療費現物給付中学 3 年に拡大

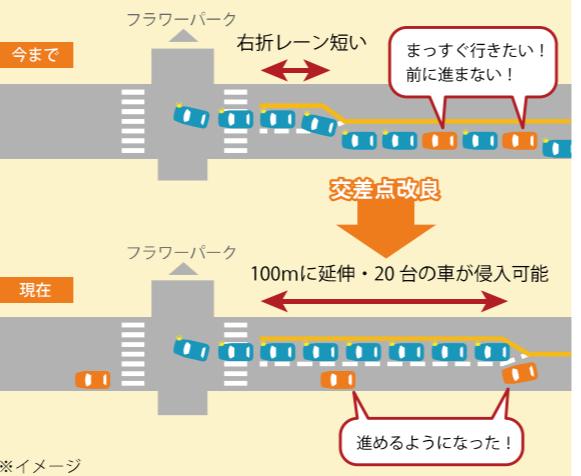
足利市以外の周辺自治体では、中学 3 年生まで医療費の窓口での支払いがない「現物給付」を採用しています。足利市はこれまで窓口で医療費を支払い、後日申請して返金される「償還払い」を採用していて大変不便でした。また病院一ヵ所につき 500 円の手数料もかかり実質無償ではありませんでした。子育て世代をはじめとする多くの市民の意見や、議会での長年の議論、会派からの提言などを経て 2019 年 4 月より、足利市も太田市や佐野市と同じ、「現物給付」を中学 3 年生まで拡大することになりました。「足利は子育てし難い」と言われていた大きな要因を取り除くことができました。



▲詳細

## パーク＆トレンライドと 県道交差点改良で渋滞解消へ

あしかがフラワーパーク周辺で課題となっていた渋滞問題。その解消などを目的に、平成 30 年 4 月、JR 両毛線「あしかがフラワーパーク駅」は開業しました。



平成 29 年 9 月議会において「新駅の効果を最大限に發揮するため、パーク＆トレンライドの本格的な導入と、県道 128 号線の交差点改良を検討すべき」と提言しました。結果、栃木県やフラワーパークの協力を得て、共に実現していただき、渋滞解消に繋げることができました。



▲詳細



## 平成 30 年 6 月議会一般質問（平成 30 年 6 月 12 日）

### 観光行政

～交通渋滞問題、中心市街地活性化、ホスピタリティ向上～

【末吉】パーク＆トレンライドや交差点改良で渋滞緩和に大きな効果があった。新駅北側に連絡通路を整備し、更なる渋滞解消と利便性向上を検討すべきではないか。

【都市建設部長】通路設置には関係機関と協議を行う必要がある。調査研究をしたい。

【末吉】観光サインは観光都市に欠かせない。市内には様々な観光サインが無計画に設置され、更新していないもの、経年劣化で不安定なもの等がある。これらを定期的に維持管理、修繕していくことが必要と考える。

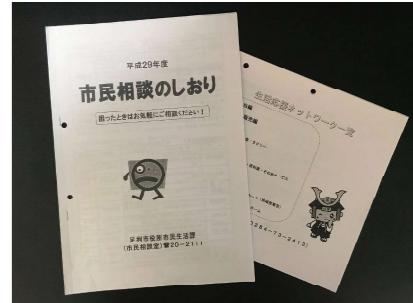
【産業観光部長】一定の区域を区切った上でそこを調査し、その中で必要なものの維持管理をすすめたい。

#### ＜末吉の主張＞

新駅整備の効果を最大限に発揮するため、今後も効果測定を行いつつ様々な政策を打ち続ける必要がある。

### 高齢者福祉に関する相談体制

【末吉】市民相談や生活応援に関する情報を、高齢者に配慮したデザインで一冊にまとめれば、相談などの利便性が向上すると考える。また高齢者本人のできることも増え、担当者の働き方改革にもつながるため、制作・配布を検討してはどうか。



【健康福祉部長】そのような冊子があれば、業務の効率化が図られる。今後、関係課と協議しながら検討していく。

#### ＜末吉の主張＞

今後更に増加する見守りや介護が必要な高齢者。業務の効率化により、いかに人手不足の現場を助けていくかは重要な視点。

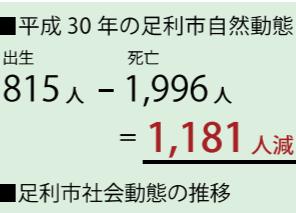


▲詳細

## 平成 30 年 9 月議会一般質問（平成 30 年 9 月 12 日）

### 人口減少問題

【末吉】転出者を減らすためには、転出のきっかけや要因、また本市に対する不満などの実態を把握する必要がある。徹底したアンケート調査等を実施し、転出の本質的原因を探るべきではないか。



【総合政策部長】今後の行政課題を明確にできるが、個人情報や回収率の課題がある。先進地を参考に研究したい。

【末吉】人口ビジョンには本市の合計特殊出生率を 2017 年の 1.38 から 2030 年に 1.90 へ改善するとしているがイメージがわかない。理想の子どもの数、出産に伴う諸課題、望まれる子育て政策など具体的かつ正確な課題やニーズを把握するため、本格的な実態調査が必要ではないか。

【総合政策部長】一定の効果は考えられるが、家庭の事情に切り込むデリケートな問題もある。他市の取り組みなどを参考に研究したい。



老朽化した福富公園のフェンスを更新



消防第 15 分団員として水防演習に参加

### 技術革新による自動運転化社会への対応

【末吉】2020 年東京オリンピックを目前に車の自動運転技術は急速に進化している。近隣にも自動運転研究を推進する大手自動車メーカーや大学等の高等学術機関がある。他市に先んじた施策展開のため、自動車メーカーや大学等に実証実験の場を提供すべきではないか。例えば JR 足利駅と東武足利市駅を橋梁を渡って結ぶコース、名草や松田などの中山間地域と商業施設を結ぶコースが考えられる。

【総合政策部長】自動運転は安全性等の課題もあるが、高齢化社会に対応する移動サービスや、物流の生産性向上にも変革をもたらすと考えられる。先進的な開発を推進している企業との連携の可能性を探っていきたい。

#### ＜末吉の主張＞

足利市周辺には大手自動車メーカーが複数立地し、高速道路、都市的まちなみ、平野部、山間部、田園地帯、河川など、海以外の様々なシチュエーションが揃い、自動運転の実証実験には最適。先進の技術やノウハウを早期に享受できるメリットは大きい。



▲詳細

◆ 他にも「田崎草雲の顕彰」、「文化財保存・展示施設」について質問をしました。

▶ 詳しくはホームページの議事録をご覧ください